

オフィスツアーのご案内

キヤノンマーケティングジャパンが
「実際に取り組んでいる事例」をご紹介します！

市場の変化、社会の変化、お客様の变化に、柔軟かつ迅速に対応するべく、

弊社では、働き方を変える取組を進め、更なる働き方改革の推進のため、2017年にオフィスを移転いたしました。オフィスツアーではBEFORE/AFTER交えて実際のオフィス環境を見ながら弊社の取り組みをご紹介します。



2000年代

移転



2017年

働き方改革！

移転&電子化



2020年



モバイルワーク

オフィスツアー例／所要時間：約90分

オフィス変革の背景と効果を説明	30分	営業・企画販推・総務部門のオフィスを見学	30分	ご要望に応じた変革解説 質疑応答	30分
プレゼンルーム		オフィスフロア		プレゼンルーム	



<https://cweb.canon.jp/solution/biz/trend/telework.html>

Canon テレワーク



●お求めは信用のある当社で

テレワーク環境 = Tele(遠く・離れた場所) + Work(働く) 簡単チェックリスト

電子化
オンライン会議
在宅勤務

セキュリティ
サテライトオフィス
助成金

テレワーク環境レベル、測りませんか？

①最適なハードウェア

- 会社支給のPCがある
- 会社支給のPCに最低限のソフトウェアが入っている(office等)
- 会社支給のPCはカメラとマイクが使用可能である
- 会社支給の携帯 (スマホ)がある

②ネットワーク環境

- リモート接続が可能である
- シンクライアント環境がある
- 社内NWにアクセスが可能である
- 社外でインターネットが使用できる

⇒ Connection

③セキュリティ

- PCに盗難防止のセキュリティをかけている
- USB等の可搬メディアは使用制限をしている
- 端末管理が可能である
- 覗き込み防止などの対策をしている
- マルウェア防止対策ができています
- データに対するバックアップができています

⇒ Security

④電子化

- FAX業務がある (_____ 業務)
- 既に電子化環境があり、テレワークは可能である
- 電子化できていない紙文書が多く残っている
- 家や外からデータ等のファイル共有が可能である
- 文書管理システムを使用している
- 業務の電子化に対応できる社内規定がある
- 承認・決済が紙以外でもできる
- 家で印刷やスキャンができる

⇒ Environment

⑤コミュニケーション

- 会社で利用承認されているWeb会議システムがある
- スケジュール管理が可能である
- ビジネスチャット環境がある
- 社外からもメールの確認ができる

⇒ Communication

⑥勤務管理、業務処理

- 在宅勤務のルールが社内にある
- 勤怠管理について不安がある
- 経費精算の承認業務が社外でも処理できる
- 稟議書の承認業務が社外でも処理できる

⇒ Management



テレワークに必要な5つの要素

Connection

人と人、モノとモノを『つなぐ』

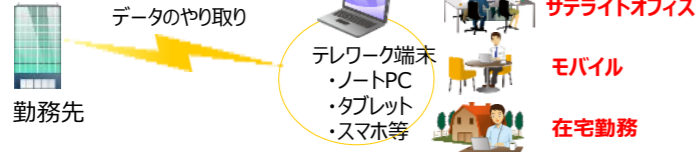
■テレワークに必要なICT環境

ICT : Information and Communication Technology (情報通信技術)

- ①接続回線
 - ◇事業所からのインターネット接続
 - ◇事業所間接続 (サテライトオフィス含む)
 - ◇専用線・VPN
 - ◇無線接続
 - ◇モバイルWifiルータ・SIMカード・テザリング
- ②利用端末
 - ◇会社支給PC
 - ◇スマホ・タブレット
 - ◇BYOD (Bring Your Own Device 個人が所有しているデバイス)
- ③ソフトウェア
 - ◇業務ソフトウェア
 - ◇コミュニケーションツール
 - ◇管理ツール

イメージ図

テレワークの3つの形態



ご検討アイテム

- ①リモートログイン
 - リモートPC 遠隔でデスクトップを操作
 - オフィスPC
 - ・リモートデスクトップ
 - ・仮想デスクトップ
- ②クラウドのアプリアクセス
 - リモートPC
 - アプリ
 - オフィスPC
 - データ共有
 - チャット
 - 会議システム
- ③VPN接続製品の利用
 - 社内兼リモートPC
 - VPN装置
 - 社内システム
 - VPNルータ
 - ソフトウェアVPN

Security

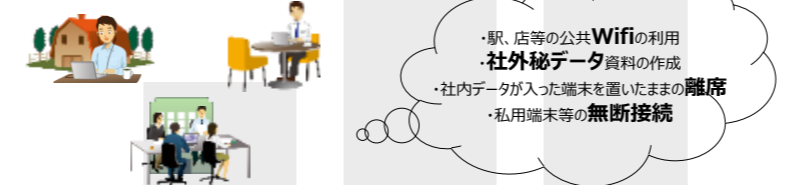
資産や情報を「まもる」

テレワークは非常に便利!

しかし利便性が上がると、一方セキュリティ面での不安も出てきます...

- ①社員同士で情報のやり取りによるインターネットを利用時のリスク
 - ②社員以外の第三者が立ち入る可能性のある場所で作業を行うリスク
- テレワークでは企業の情報資産がインターネット上を流れることが多く、またノートパソコンやタブレットといった持ち運びし易い端末が使用されます。そのため、ウイルスやワーム等の感染、通信内容の盗聴、端末の紛失や盗難等の脅威に対して有効な対策を講じる必要があります。

イメージ図



ご検討アイテム

- 端末でのセキュリティ対策
 - * 端末へのログイン認証
 - * ウィルス対策ソフト
 - * ハードディスクの暗号化
- 社内でのセキュリティ対策
 - * 資産管理システム
 - * 社内への感染拡大防止システム
 - * 情報資産のバックアップ

Communication

いつでもどこでも「はなす」

テレワークになると直接対面する機会が少なくなります。コミュニケーションが減少することにより、情報伝達の遅れ、情報共有不足、意思疎通の不足という課題が発生します。テレワークでもコミュニケーションを取れる仕組みが必要です。



どこにいても顔を見て通話が可能な仕組み



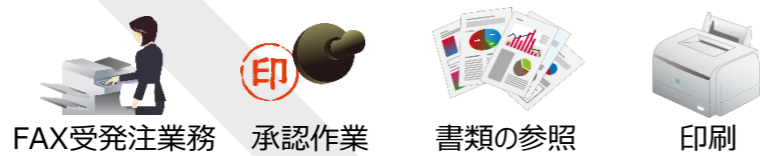
ご検討アイテム

- 【顔を見る/声を聴く/SNSツール】
 - Microsoft teams (HOME-Type O)
 - Webカメラ、マイクスピーカー
- 【情報共有】
 - Microsoft SharePoint/OneDrive (Office365、HOME-Type O)
 - Home BOX2 (HOME-Type S2)
 - Therefore Online

Environment

『環境』を整える

テレワークではオフィスの外からでも情報資産にアクセスし、オフィスの外にいても同じ業務ができる環境を構築することが重要です。



紙文書の電子化



ご検討アイテム

- ペーパーレスFAX環境構築
- クラウドストレージ/文書管理システム
- ワークフローシステム
- 電子化代行サービス
- モバイルプリンタ/モバイルスキャナ

Management

『管理』ルール確立

▼テレワーカー側の課題

- ① テレワーカーの就業状態の把握 【在席確認、長時間勤務】
- ② テレワーク時の情報セキュリティリスク 【情報漏洩、なりすまし対策】
- ③ 仕事の在り方、働き方見直し 【制度やルール整備】

▼会社側・管理者側の課題

- ① 勤務状況の連絡や報告作業 【管理手段・仕組み確保】
- ② 自己管理・緊張感の維持 【集中できる環境】

イメージ図



ご検討アイテム

- テレワークサポーター
 - 在席 (Present)
 - 離席 (Absent)
 - 覗き見 (Peeking)
 - なりすまし (Impersonation)
- 勤務管理者はブラウザからテレワークサポーターにアクセスし、テレワーカーの勤務状況や集計データを確認することができます。



キヤノンマーケティングジャパンも取り組んでいます!